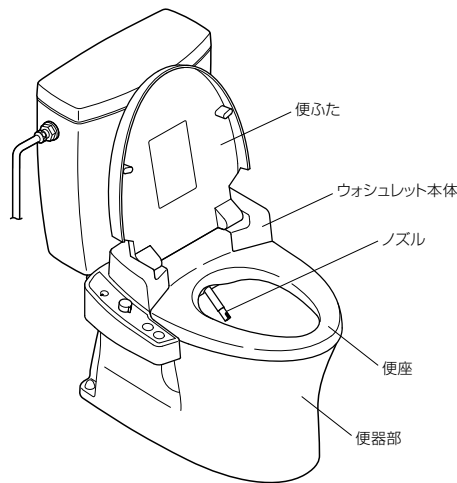


# お手入れのしかた

お掃除の前に必ずお読みください。



## 安全上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しくお使いください。

表示と意味	<b>警告</b> 死亡や重傷を負う可能性がある内容です。	<b>注意</b> 傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。
-------	-------------------------------	-----------------------------------

<b>警告</b>	
	分解や修理・改造は行わない (感電や故障の原因になります。)
	ウォシュレット本体に、水やお湯、洗剤をかけない (感電、故障ややけどの原因になります。)

<b>注意</b>	
	強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたやウォシュレット本体の上に乗らない、重いものを乗せない (割れたり、ウォシュレット本体がはずれて落下することによるけがの原因になります。製品が破損して、けがや室内浸水の原因になります。)
	プラスチック部分(ウォシュレット本体など)は、うすめた台所用洗剤を使う ・トイレ用や住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどは使わない (故障やプラスチックを傷め、割れてけがの原因になります。)

## お手入れ

※ウォシュレットの清掃中に便座や便ふたを押さえると着座スイッチがはいる、ウォシュレットが作動して水の流れる音が聞こえる場合がありますが、異常ではありません。

便器	
<b>1</b>	<b>便器内を洗剤でお手入れするとき</b> トイレ用洗剤及び消毒剤などで便器を掃除するときは、3分以内に洗い流したあと、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。 ・便器に残った洗剤はふき取ってください。 (洗剤の気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。)
<b>2</b>	<b>便器の内面は棒たわしなどで洗う</b> 便が付着しているときは、棒たわしで洗い落とすようにしてください。内面は洗浄水で洗われますが、水あかや便の状態によっては付着して落ちにくい場合があります。
<b>3</b>	<b>便器の外表面は水ぶきする</b> 洗剤を使用したときは水ぶきをしっかり行ってください。
<b>4</b>	<b>便器用洗剤がウォシュレットに付着したとき</b> 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。

ウォシュレット本体、便座・便ふた	
<b>1</b>	<b>水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく</b> ■汚れがひどいときは・・・ ・うすめた台所用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふいてから水ぶきする。 <b>お願い</b> ●ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入ったり、洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないよう、気をつけてください。 (プラスチックを傷めたり、故障の原因になります。) ●便座裏面や便座クッションなども、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。 (汚れ付着などによる変色の原因になります。)
	水でぬらしたやわらかい布
	トイレットペーパーなど(傷つきの原因)

ノズル〈汚れが気になるとき〉	
<b>1</b>	<b>ノズルを出す</b> ①「つまみ」の突起部を①おしりピデを選択の位置に合わせる ②  を3秒以上押す ・洗浄しながらノズルが出る ・約5分後に自動に戻る
<b>2</b>	<b>やわらかい布で水ぶきする</b> ・ノズルを無理に引っ張ったり、押し込んだり、押さえつけたりしない(破損や故障の原因) 
<b>3</b>	<b>止</b> を押す ・ノズルが戻る
<b>4</b>	<b>「つまみ」の突起部を「おしり洗浄」または「ピデ洗浄」に戻す</b> ①おしりピデを選択 ※「つまみ」の突起部が  位置にあるときは、おしり洗浄・ピデ洗浄ができません。
	やわらかい布
	トイレットペーパーなど(傷つきの原因)
<p>※1 座っているとき、便座を押さえているときは、ノズルは出ません。</p> <p>※2 ノズルが出ているときノズルの横から温水が排出されますが機能上必要なもので異常ではありません</p>	